

おりもとだより

2022年
夏号
vol.46

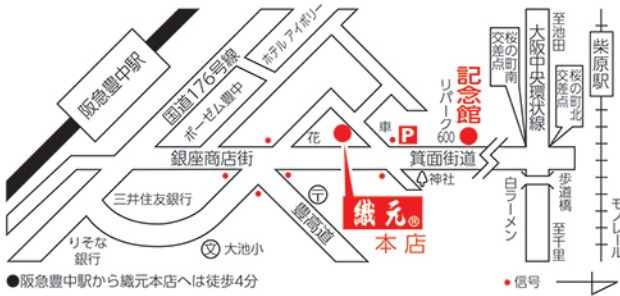


豊中 織元®

百穀を潤すめぐみの雨、五風十雨いわれるこの季節、
日ごとに木々が鮮やかに変わってゆく様は、日本のゆたかな自然を感じさせてくれます。

山や川、海が身近にあり、季節ごとの気温や気候が変化に富んでいるために、
我々はわずかな色や匂いの変化にも敏感に育ったのではないのでしょうか？

先人たちはその色彩の豊かさを表現しようと様々な工夫を重ねてきました。
それらは草木や化学の力を借りて、きものに、帯に宿っています。
作家や職人たちが生み出す『色』をぜひご覧になってください。
経糸と緯糸が織りなす色彩のハーモニーにきっと心が弾みます。



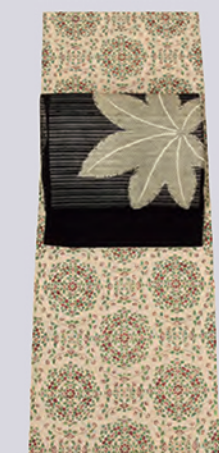
〒560-0021 豊中市本町4-1-8 TEL 06-6849-5298(代) FAX 06-6852-1021
<http://www.orimoto-t.co.jp>



爽やかな涼風を感じるブルーに花と実と蔓で瓢を鮮やかに描いた紹訪問着です。



琉球王朝の王族や貴族が愛用した首里花倉織。卓越した技の花模様と光沢が艶めきます。季節先取りのレモン色の染帯で。



古典文様を現代の配色で染めたワンピース感覚の小紋。ほどよいざっくり感のある紹紬の肌ざわりも魅力です。疋田の楓の染帯できりっと涼感を。



女性らしい灰褐色の雪輪文様の紹の小紋。撫子と萩の爽やかな水色の染帯で大人の可愛らしさを。



明るいグラデーション染めの袖透けない単衣の期間が長くなりました。リズム感ある葡萄唐草文の織の名古屋帯。



上原美智子作あげずば織。桜、栗、くちなしで染めた味わい深い幻の織物。知性を感じる柳崇の帯でシャープに。



清々しい単衣の装い



きものと出逢いと



お客様から

爽やかな藍色とクラシックな御所解文様を
一目で気に入りました
訪問着ですが、さらりとした紬素材で仰々しくなく
初夏から愛用しています
北村武資先生の羅の帯、
大変貴重になってしまったと聞きました
大切に使いていきたいと思ひます



ゆかりまつり

川西阪急 1階 —— 5月25日(水)～5月31日(火)
千里阪急 5階 —— 6月8日(水)～6月14日(火)
西宮阪急 1階 —— 6月22日(水)～6月28日(火)

織元着方教室

～“きもの”を肩ひじ張らずに
楽しんでいただけるように～

ところ 織元記念館

受講料 5,000円/4回

とき 毎週木曜日

・10時から12時 ・14時から16時

毎週土曜日

くわしくはお問い合わせください